

生き残りを目指して、中国進出

(株)十辰製作所

―御社の創業から現在までの歩みは、

昭和27年6月に先代(現代表の父)五十嵐辰雄が東京の大田区で個人として機械加工業を始めました。その後、昭和29年1月に有限会社、昭和38年11月に株式会社に改組し、あわせて経営規模も少しずつ拡大してきました。昭和45年には横浜に本社工場を移転し、さらに昭和54年には岩手工場の操業を開始し、お客様にも恵まれ、着実に業績を伸ばしてきました。そして、昭和63年には、生産の効率化を図るため、横浜は本社として管理部門だけとし、工場を岩手に一元化しました。また、平成14年1月には、念願の中国進出を果たすこ

とができ、同年9月に操業を開始しました。現在、この中国工場の本格操業に向けて頑張っているところです。

―一部上場企業からも直接受注しています。

今になればよくわかりませんが、先代が東京大田区で機械加工を始め頃からの取引で、特に三菱重工業とは、それ以来45年ほどのつき合いがあります。信頼を受けてのことだと思います。

品質、コスト、納期の面での実績が評価されているものと自負していますし、もちろん、今後も大切なお客様として取引を続けていくつもりです。

―中国へ進出したきっかけは、

昭和48年のオイルショック時、経営の厳しさをつくづく感じ、それ以来守りの経営に徹することとしました。そこで、まず借金をすべて返し、自然体の経営に切替えてから、次第に経営状態が上向いてきました。しかし、中国等の海外製品・部品との価格競争の中にあって、このまま国内だけで生産を続けていくのは、困難との思いから、平成8年頃から海外進出を考え始めました。海外進出のため、神奈川県産業貿易振興協会、中小企業事業団等からの指導を受け、セミナーの受講、海外視察等により、準備をすすめ、進出先を中国の大連とし



流体装置

建設機械・フォークリフト部品



岩手工場



大連工場



代表取締役 五十嵐信博さん

企業概要

設立：昭和27年6月

代表者：代表取締役
五十嵐 信博

所在地：
本社事務所 横浜市都筑区川向町
1349番地

岩手工場 岩手県上閉伊郡宮守村
下宮守39-141-7番地

電話番号：

本社 045-471-5858

岩手工場 0198-67-2238

URL：http://www7.ocn.ne.jp/
jyussin/

資本金：4,780万円

従業員数：45人

業務内容：機械加工、板金加工、溶接、
塗装、組立ほか
製品は建設機械部品、農業
機械部品、精密機械加工部
品

主要取引先：三菱重工業(株)、新キャ
ピラー三菱(株)、(株)トキ
メック、(株)ベン

主要設備

(生産設備) NC旋盤21基、横型マシ
ニングセンター6基、縦型マ
シニングセンター3基、縦
フライス盤、横フライス盤
各1基、溶接機3基、研磨機
3基

(測定機器) 三次元測定器1基

中国の工場は独资で、大連十辰机械
加工有限公司です。

ました。中国進出の理由は、コスト低減、取引先の拡大そして中国の生の情報把握です。また、大連を選んだ理由は、当社の材料調達先が既に大連に進出していたこと、そして親日的で日本語を話せる中国人が多かったことです。

―実際に中国へ進出しての感想は、

工場を操業して1年もたたないので、まだはつきりしたことはわかりませんが、大きな問題は、コストが当初想定したものを上回ることです。それと、日本から2人現地に派遣していますが、優秀な現地の人材がなかなか集められないことです。日本人のよさをあらためて実感しました。中国は概して能力の個人差が大きいと感じています。しかし、これらのことも実際に中国に進出し、自分自身の目で確かめたか

らこそわかったことですので、これを礎とし中国進出の所期の目的達成に努力したいと思います。

―特に今後力を入れたいと計画していることは、

まずは営業力の強化です。このためには、現在、専務1人が営業を担当していますが、有能な人材を確保し、より一層営業面に力を入れたいと考えています。中国では比較的簡単な量産物、国内では、難度の高い多種少量物という棲み分けをすとも、中国での事業規模は現状維持とし、当社の基幹工場である岩手工場を営業面、技術面で見直し、人材教育にも力を入れて、どんな経営環境にも対応できる体力のある企業を目指していくつもりです。